

第 1 回 8 月 1 日 (月)

『最新 RPA 動向について』

RPA ツール、そのトレンドなど最新の情報をお伝えします

現在、年商 50 億円以上の中規模企業の 37%、年商 50 億円未満の中小規模企業の 10%がすでに RPA を業務に導入しているとされています。また、RPA ツールは毎年新たな製品が発売され、新たな機能が追加されるなど大きな変化が続いています。本研究会のスタートにあたり、2022 年の最新 RPA 動向についてお話いただきます。

株式会社 アシスタント 関西事業部長 中村 浩司 氏

第 2 回 8 月 22 日 (月)

『フジテックの RPA を活用した働き方改革』

ユーザー主体の RPA 開発でデジタル化を推進、 7,280 時間の業務時間短縮とマネジメントサイクルの高速化を実現

エレベータ・エスカレータ製造大手のフジテック㈱は、IT を活用した働き方改革に取り組んでいます。モバイルツールやクラウドサービスを活用した業務支援により、働く場所や時間にとらわれない、“安全・安心”で快適な働き方の実現を目指しています。2019 年に RPA を導入。外部コンサルタントの力を借りずデジタル化を推進する体制を構築し、現場の従業員自ら RPA を開発。1 年半で年間 7,280 時間の業務時間短縮とマネジメントサイクルの高速化を実現した事例をお話いただきます。

フジテック 株式会社 デジタルイノベーション本部 プロセス管理部部長 山本 健治 氏

第 3 回 9 月 1 日 (木)

『現場開発型での RPA の運用・推進』

LIXIL の現場が喜ぶ RPA の始め方・広め方・使い方 ～現場は本当に良くなった？～

建築材料・住宅設備機器業界最大手の㈱LIXIL ではシステム部門の手が回らない箇所を改善するため現場社員が自らロボットを作り運用する現場開発型で RPA を推進してきました。今でこそ定着していますがそこに至る道のりは険しく、大きな論争になったこともしばしば。そもそもなぜ現場開発型を選び、どのように定着に至ったか、その結果現場は本当に良くなったのか、失敗談や悩みも交えて紹介いただきます。

株式会社 LIXIL デジタル部門 デジタルサービスサポート部 リーダー 中村 宏 氏

第 4 回 9 月 14 日 (水)

『営業活動に専念できる RPA を開発』

ISS リアライズの営業部隊を支援するための RPA 開発 ～これから RPA を導入する方に聞いていただきたい失敗談の数々～

㈱ISS リアライズ（旧 井上特殊鋼）はメーカー機能も有する金属加工品商社です。総合職の 8 割が営業として働く同社では RPA を使い、営業職の数々のルーチンワーク（在庫管理、発注検討書の作成、客先 EDI からのデータの吸い出しなど）を支援すべく RPA 開発を開始しました。しかし、開発したロボットの半数以上が使われなくなる、RPA 教育が定着しない、部署の対立など数々の失敗がありました。どのように失敗を乗り越え、RPA で営業職の業務をサポートしているか、今後どのように業務改善を進めていくのか、ご紹介いただきます。

株式会社 ISS リアライズ 本社総務部 シェアードサービス推進グループ 朝倉 誠一 氏

第 5 回 10 月 4 日 (火)

『RPA と OCR 組合せ活用（入力自動化）』

業務改善活動の一環として RPA と OCR を導入し、業務効率を改善

㈱オカフーズは東京都中央区にある 40 人規模の水産加工メーカーです。業務改善チームが全社員を主導し、デジタルを使わない個人でできる小改善をスタートに、次第に部門内改善、全社改善・システム改善を行いました。基幹システムを補完するため RPA と OCR を組み合わせ、年間 200 時間以上の作業時間の短縮に成功しました。参加者の皆様の改善の後押しとなる RPA 導入事例を紹介いただきます。

株式会社 オカフーズ システム室長 高橋 哲茂 氏

第 6 回 10 月 27 日 (木)

『RPA・DX の従業員への浸透』

PC 使用は経理の 2 人だけだったハマヤが RPA 導入に成功した方法

京都の老舗手芸卸売企業㈱ハマヤでは、RPA・DX をはじめる前、PC を使って仕事をする人は経理の 2 名だけで、多数の人が電話・電卓・手書きの複写伝票という「三種の神器」で業務を行っていました。そんな同社がどのように RPA 導入・DX 化を社員に浸透、業務改善を行ったかご紹介いただきます。

株式会社 ハマヤ CTO 若井 信一郎 氏

第 7 回 11 月 7 日 (月)

『属人化した業務の抽出、そして自動化』

カスタマーセンターの属人化業務を自動化し、誰でも対応できるようにした方法

弥生会計で知られる弥生㈱では、各業界で深刻化している人手不足のためカスタマーセンターの業務効率化が急務となっていました。そこで人が注力すべき業務とそうでない業務を整理し、後者の自動化を開始。『属人化した業務』をいかに効率化し、誰でもできるようにしたかをご紹介します。

弥生 株式会社 執行役員 顧客サービス本部 本部長 杉浦 雅幸 氏

RPA 導入事例研究会 参加申込のご案内

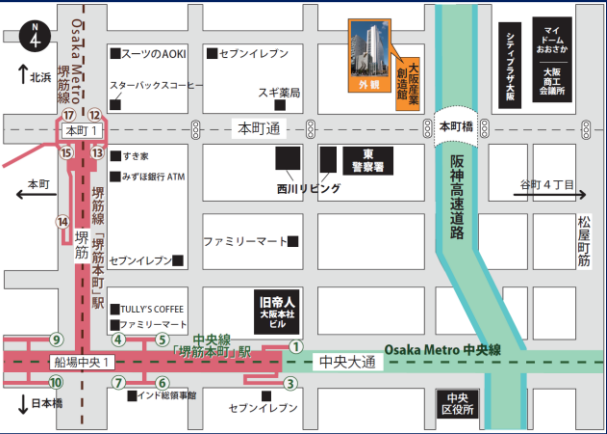
開催日程 8/1(月)、8/22(月)、9/1(木)、9/14(水)、10/4(火)、10/27(木)、11/7(月)
各回とも 14：30～16：00（30 分前から会場へお入りいただけます）

参 加 費 お一人様 77,000 円（消費税 10% 含む）
具体的な企業事例をお話しいただきますので、インターネットなどでの配信は予定しておりません

参加対象 RPA の導入をご検討中の方
RPA を導入し社内への展開でお悩みの方

会 場 大阪産業創造館 （大阪市中央区本町 1-4-5）
地下鉄 堺筋線 中央線[堺筋本町]駅 12 番出口より徒歩約 5 分

申込方法 大阪府工業協会ホームページからお申し込みいただけます。
または下欄の参加申込書に必要事項をご記入いただき、FAX にて、当協会までお送りください。
F A X 06-6245-9926



お申込みを受理し参加登録を行います。受付完了後、電子請求書を発行しお申込み担当者様へ E-mail でご連絡します。メール内の URL からダウンロードをお願いします。

お申し込み
お問合せ

Osaka Prefectural Manufacturing and Industrial Association

公益社団法人 大阪府工業協会

〒541-0054 大阪市中央区南本町 2-6-12 サンマリオンタワー4 階
TEL：06-6251-1138 / FAX：06-6245-9926 URL：https://www.opmia.jp

参加申込書 RPA 導入事例研究会

2022.8～11
No. 6313-2461 ST

会 社 名	従業員数			名	主要製品	
所 在 地	〒				◎参加費送金予定 振 込（ 月 日 銀行） 受講者（ ）名分 ¥ (税込み)	
電話番号		FAX				
◎申込担当者（請求書発行の通知メール・受講に関する案内メールをお送りします。請求書は指定の URL にアクセスし電子ファイルをダウンロードしてください。） 所属（役職名） 氏名 E-mail（必須） @						

下欄に参加される方の情報を記入ください。

参加者 1（参加者メールのお送り先） 所属（役職名） 氏名	E-mail @
参加者 2（参加者メールのお送り先） 所属（役職名） 氏名	E-mail @
参加者 3（参加者メールのお送り先） 所属（役職名） 氏名	E-mail @

お申し込みは ▶ FAX 06-6245-9926 公益社団法人 大阪府工業協会

※申込書にご記入いただいた内容は、事務処理（請求書の発行等）・講演者への参加者名簿提示のほか、研修案内の送付に利用させていただく場合がございます。なお、内容の訂正・利用停止をご希望の際は、当協会までご連絡ください。

https://www.opmia.jp/
ホームページからも参加申込できます

主催 公益社団法人 大阪府工業協会

RPA 導入事例研究会
2022. 8/1～11/7 の全 7 回
～RPA の検討から実現までの過程を成功事例に学ぶ～

RPA は、人間がコンピューター上で行っている定型作業をロボットで自動化することをいい、業務における単純・繰り返し作業から従業員を解放し生産性を向上する道具です。いま数々の企業で導入が進み、成果をあげはじめています。

しかし RPA は今日導入をおこなって、明日から生産性が向上するという魔法ではありません。企業で業務に適用するためには、RPA 導入の検討、ロボットの作製、社内体制の構築、従業員への教育など、すべきことが多々あります。この研究会ではすでに RPA で成果をあげている企業ではどのように課題に取り組み、どのようにして成功したのかを講演形式でお話いただきます。ぜひご参加いただき皆様の組織の RPA 導入、業務効率の向上にお役立てください。